

事例 4 効率的な施業実施に向けた林業専用道の新設

(関東森林管理局 福島森林管理署白河支署)



- ・ 福島県白河^{しらかわ}市 金山^{かねやま}国有林
- ・ (左) 新設した黄金沢^{こがねざわ}林業専用道
(令和7(2025)年12月)
- ・ (右) 新設した黄金沢^{こがねざわ}林業専用道
(令和8(2026)年1月)

森林施業の実行に当たっては、現場までの作業者の通勤や林業機械の移動、木材の効率的な運搬のため、路網の整備が必要となります。

福島森林管理署白河支署は、将来的に継続して森林施業が見込まれる人工林において、伐採や木材搬出を効率的に実施するため、幹線となる林道を補完する林業専用道の新設を行いました。林業専用道は、トラックによる運材の時間短縮と安全確保のため、10t積トラック等の大型車両が走行可能となる規格で計画されており、令和7(2025)年度は、全体計画3.4kmのうち約3分の1(1.3km)の工事が完了しました。完成時には既設林道を通じて市道と接続することとしており、災害発生時における市道等の代替路としての活用も期待されています。

同支署では、引き続き、効率的な森林施業に必要となる林業専用道の完成に向けて設計や工事に取り組むこととしています。